

## 新発田城 新潟県新発田市大手町 6 丁目

別名「あやめ城」とも呼ばれ、初代新発田藩主溝口秀勝侯が慶長 3 年(1598 年)に築城し、3 代宣直(のぶなお)侯のときに完成しました。新発田城は一般に多くある山城とちがって、本丸、二の丸、三の丸からなり堀や石垣に囲まれ新発田川の水を巡らせた平城で 11 棟の櫓と 5 棟の門が並び壮観な景観を呈していました。石垣がすき間なくかみ合うようにきちんと積まれる「切込はぎ」と呼ばれる美観を重視した技法でつくられ、白と黒が美しい海鼠(なまこ)壁で仕上げられています。現在は本丸の一部を除く全域と古丸全域、二の丸の一部が自衛隊駐屯地として利用されていて中に入ることができない全国でも珍しい城なので紹介します(多くの城は公園などになって自由に入れますが・・・)。また、城の表門前に堀部安兵衛の像。赤穂義士の討ち入りで中心的な役割を果たした安兵衛。像の顔は、しっかりと江戸を見つめています。(案内板)



大手門とお濠





本丸は陸上自衛隊駐屯基地があり立入り禁止区域



赤穂義士の討ち入りで中心的な役割を果たした安兵衛像

説明版